

社協たより

第184号

2019.12.1

点字・墨字版あります

【編集・発行】社会福祉法人 直方市社会福祉協議会 〒822-0026 直方市津田町7番35号
TEL0949(23)2551 FAX0949(23)2552
e-mail:nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp HP:http://www.nogatashakyo.org/



誰もが参加できる競技

令和元年10月18日に、直方市体育館で令和元年度福岡県精神障害者スポーツレクリエーション大会が行われました。直方・鞍手地域精神障がい者家族会のなおみの会が実行委員会を担い、当日はボランティアを含め212人の参加者が、ふうせんバレーを通じて交流を深めました。



- ケア・カフェのおがた 2
- お知らせ (もちつき会開催/運転協力員募集/ホームヘルパー募集)
- 地域の輪 (アイネット[直鞍視覚障害者共の会])
情報の広場 (第18回男性介護者のつどい/
第2回ケア・カフェのおがた) 4
- ご寄付 4
- 図書室 (百花) 3

「ふうせんバレーボール」は、6人制のチーム競技で、全員が一度は風船(鈴入り)にタッチしたうえで、相手コートに10回以内に返すスポーツです。

私は車いすでマヒがあり、腕力が弱いため、スポーツすることを尻込みしていました。しかしプレーしてみると、ふうせんバレーは、手にポンと当てるだけで風船が舞い上がるため、チームの一員として、疎外感を抱くことなく、無心で楽しめました。レクリエーションに最適で、特に事前練習なしに、子どもから高齢者、重い障害者まで誰もが一緒にプレーできることが感慨深いです。

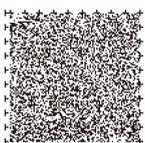
その一方、トップアスリートがシビアに勝敗を競う「東京パラリンピック」の開催まで、あと8ヶ月となりました。あらゆることより競技を最優先に、人生をかけて挑む日本選手の姿と、最高の舞台上に辿り着くまでの道のりに思いをはせて、応援したいと思えます。(藤田)

kantera

カンテラ

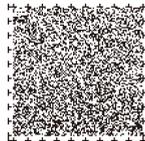


障害者スポーツ



ケア・カフェのおがた

～横のつながりをつくるう～



カフェマスターの
川島豊輝さん

9月9日に直方で第1回目となる「ケア・カフェのおがた」が認知症の人と家族の会直方（以下家族の会）の主催で開催されました。

ケア・カフェとは？

ケア・カフェとは、地域のケアを向上させるため、ケアに関わる全ての人に参加することができ、日常のケアについて相談できる場です。

「悩みを相談する」「自分と異なる経験や知識を知る」「交流を通じ仲間を作る」などを行い、「また、明日から頑張ろう」とポジティブな気持ちになることを目的としています。

ケア・カフェのおがたについて、直方でケア・カフェを始めるきっかけを作った人であり、認知症介護指導者・グループホームみんなの管理者・家族の会世話人もある、山本幹雄さんにお話を聞きました。

直方にもケア・カフェを！

元々、ケアに関わる人同士で話す場があればいいなと思っていました。他の施設にどんな人がいるか

知らず、同職種はもちろん他職種ともなれば、なおよさら誰がどこにいるのか知らないといった経験はあると思います。職場や職種にとらわれず語り合うことで、横のつながりができたらいいと思っていたものの、どうしたらいいか分かりませんでした。そんな時、他市町村のケア・カフェに参加する機会があり、これを直方でもやってみようと思ったことがきっかけでした。家族の会に相談したところ、ケアを考えることは将来的に家族の為にもなることだし、ぜひやろうということになり、今回家族の会主催でケア・カフェを開催することになりました。

同じ悩みを持つ人に出会えた

第1回ケア・カフェのおがたでは、カフェマスターに、認知症介護指導者で、㈱パーソンサポート 絆代表取締役の川島豊輝さんをお呼びしました。直方で初めての開催にもかかわらず、54名もの参加者が集まり、会場の席がすべて埋まる非常に盛況な会となりました。参加者は、福祉・医療・介護・行政・家族・支援者など多岐にわたり、職種に縛られず、各テーブルでは活発に参加者同士で意見交換がなされていました。

アンケートでは、「自分と違う考え方を知ることができた。」「立場が違ってほしいは同じだと感じ

られて心強かった。」「他職種の人と意見交換できるいい機会になった。」「同じ悩みを持った人と話すことができた。」「自分のやっていなかったことが当たり前でないと気付くことができた。」「顔の見える関係になれた。」「職員の立場としてでなく、家族の方と話すことができた。」「多くの気付きがあった。」「なごのポジティブな内容の感想が多くあり、開催してみてもよかったです。」「

第2回の開催に向けて

第1回の開催も無事に終わり、第2回以降も、ケア・カフェを継続していきたいと思っています。

ケアについてのヒントを、自分の周り以外の人に相談したり、「うちではこんな風にやっている」「うちでもやってみよう」と話し合ったり、今までやっていなかったケアのやり方以外にも方法があることを知ることができ

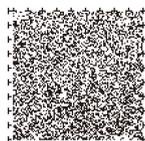
いい機会になります。「介護に携わって認知症の人の対応に追われて悩みを抱えている人」「毎日仕事をこなしているが先が見えない人」「自分の



やっていることが合っているのか不安な人」「頑張りすぎている人」「モチベーションを上げたい人」「語り合う仲間が欲しい人」「他の事業所などがどんなことをしているのかわからない人」などいろんな人に来てほしいです。

私がケア・カフェのことを知ったのも、他施設の職員さんとの交流の中で教えてもらったからでした。皆さんにも、同じケアに関わる仲間とつながりを作りに来てほしいと思います。自分のやっていることに、光が見えるきっかけになるかもしれません。ぜひ、一緒に語り合しましょう！

次回のケア・カフェのおがたについての詳細は、次ページの情報の広場をご覧ください。



地域の輪

地域に根ざした独自の
福祉活動をご紹介します。

アイネット

(直鞍視覚障害者共の会)

「アイネット」という名前を「存じますか?」これは「直鞍視覚障害者共の会」の愛称です。アイネットは、平成14年に設立し、今年で18年目を迎えました。直方市・宮若市・鞍手郡を中心とした視覚障害者と、地域住民が交流・親睦を深め、障害の有無にかかわらず共に暮らせる共生社会をめざしていくことを目的に活動しています。

具体的な活動は、年1回の総会とその後の交流会、パン作り、日帰りバスハイク、研修会、新年会などがあり、みんなで和気あいあいと活動しています。

活動では、ボランティアが準備をして、視覚障害者を招待するという、一方が支援する形ではなく、双方が共に準備・運営する形で、一緒に取り

組んでいます。

視覚障害の周知は、まだまだこれからの必要だと思えます。それぞれの地域で様々な人が暮らしている事を知ってもらい、「持ちつ持たれつ」で暮らせる事を目指したいです。みんなでこれからもトライして行きましょう。
(田中)

アイネットでは、一緒に活動する会員を募集しています。交流することに特別な技術や知識は必要ありません。見学だけでも大丈夫です。お気軽にお問い合わせください。
TEL 090(8297)6507
(事務局 松田)



糸島へバスハイクに行きました

情報広場

第18回 男性介護者のつどい



男性介護者同士が、同じ立場で話をすることで、今日を生きる力を共有する場をつくるために、今年度2回目となる男性介護者のつどいを開催します。

みずほ内科・歯科クリニックの認知症サポート医、輪田順一副院長を交えて、日常生活の悩みなどを意見交換します。

●日時

令和元年12月7日(土)

9時30分～11時30分

●会場

直方市中央公民館

(直方市津田町7-20)

●対象

男性介護者の方

(奥様やご両親などを介護している方、もしくはその経験をされた方)

●参加費

100円

●共催

認知症の人と家族の会直方

直方市社会福祉協議会

第2回 ケア・カフェのおがた

直方市とその近隣地域でケアを行っている方の横のつながりを作り、悩みや思いを共有する場です。ケアに関わる仲間を作り、ぜひお越しください。

●日時

令和2年1月21日(火)

18時30分～20時

●会場

直方市中央公民館

(直方市津田町7-20)

●テーマ

「身体拘束について」

カフエマスタール
川島 豊輝さん

(認知症介護指導者・榎パーソンサポート絆代表取締役)

●対象

ケアに関わるすべての専門職(医療・介護・福祉)・ボランティア・家族

●参加費 300円

●主催・問い合わせ

認知症の人と家族の会直方

TEL 090(4347)1833

1833

1833

1833

図書室



「百花」

著者 川村 元氣
発行所 文芸春秋社
直方市立図書館所蔵

大晦日、実家に帰ると母がいなかった。息子の泉は、夜の公園でブランコに乗った母・百合子を見つめる。それは母が息子を忘れていく始まりの日だった。

認知症と診断され、徐々に息子を忘れていく母を介助しながら、泉は母との思い出を蘇らせていく。二人で生きてきた親子にはどうしても消し去ることができない出来事があった。母の記憶が失われていく中で、泉は思い出す。あのとき「一度、母を失った」ことを。泉は封印されていた過去に手を伸ばす...

現代において、失われていくもの、残り続けるものとは何か。すべてを忘れていく母が思い出させてくれたこととは何か。

人生百年時代
代に光を投げかける、愛と記憶の物語。
「あなたは誰?」
(広田)

もちつき会を開催します

直方市社会福祉協議会では、誰でも参加できるもちつき会を開催します。

皆様のご参加お待ちしております。

■日時

令和元年12月15日(日) 9時~13時

■会場

直方市社会福祉協議会駐車場
(直方市津田町7-35)

■参加費無料

■お問い合わせ

直方市社会福祉協議会



運転協力員募集

社会福祉協議会が行う、移動送迎支援事業にご協力いただける運転手を募集します。

移動送迎支援事業とは、公共交通機関を利用することが困難な在宅の障害者や高齢者等に移動送迎の支援を行い、社会参加の促進と自立支援を行うものです。

■資格

- ・普通自動車免許(AT限定可)
※移送サービス講習を受けて頂きます。

■活動時間

- ・8時30分~17時の間の予約に応じて

■賃金

- ・時給880円

【お問い合わせ】

直方市社会福祉協議会
地域係
☎0949(23)2551
(月~金 8時30分~17時)
※詳細はお問い合わせください。



ホームヘルパー募集

高齢の方や障害者など介護を要する個人の自宅を訪問し、着替えや食事、移動、入浴、排泄などの援助を行います。

ご利用者の地域生活を、一番近くで支えるとても素敵なお仕事です。

■資格

- ・ヘルパー2級以上、介護職員初任者研修了者、介護福祉士、のいずれか
- ・普通自動車免許(AT限定可)

■活動時間

- ・7時~21時の間で3時間程度
※勤務時間は相談の上

■賃金(時給)

- ・生活援助
(日 中) 1,100円
(早朝夜間) 上記2割増し
- ・身体介護
(日 中) 1,550円
(早朝夜間) 1,860円
- ・移動支援(ガイドヘルプ)
(身体有り) 1,400円
(身体無し) 1,260円

【お問い合わせ】

直方市社会福祉協議会 総務係
☎0949(23)2551
(月~金 8時30分~17時)
※詳細はお問い合わせください。



ご寄付ありがとうございます。

令和元年8月11日~令和元年11月10日

12件 合計金額 1,090,748円

(お名前は承諾された方のみ掲載、敬称略)

香典返し寄付金

- 植木 高宮 利美
- 頓野 (故) 狩野多喜男
- 中泉 (故) 内方 輝政
- 下境 (故) 本田 郁子

一般寄付金

- 認知症の人と家族の会直方代表 宗廣壽美子



編集後記

来年はオリンピック・パラリンピックが日本で開催されます。特にパラリンピックの競技を観ていますと、障害に負けることなく活き活きとプレーしている選手の姿に感動を覚え、勇気をもろう人は沢山いらっしゃるでしょう。また、人間は自分の持つ能力の数パーセントしか活かしていないと言われていますが、夢を持って努力することで思いもよらない力を発揮できることで生きがいも得るのだと人間の可能性に驚かばかりです。70代後半の自分でも何か夢を見つけなければと思いました。(石黒)

